笠置町簡易水道事業経営計画等検討委員会（第3回）概要

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年３月２日（火）午前9時55分から午後11時55分 |
| 開催場所 | 笠置町役場２階第１会議室 |
| 出席委員  （敬称略） | 植田克巳 、坂本かおり、北川一美 、谷本一榮 、西窪明子 、二滝久功 |
| 欠席委員  （敬称略） | 山口茂 |
| 事務局 | 石川建設産業課長、福島課長補佐、井上主任 |
| 会議次第 | １ 笠置町簡易水道事業経営戦略について  ２ その他 |

|  |  |
| --- | --- |
| 発言者 | 会　議　の　概　要 |
| 建産課長  委員長  事務局  委員  委員長 | 第３回笠置町簡易水道事業経営計画等検討委員会の開催を宣言し、山口茂委員の欠席報告を受けていることを報告。  議事進行について委員長に委ねる。  過去２回開催し笠置の水道の現状について説明を受けたのですが、今後１０年どのように戦略的に運営していくのかということについて意見を求められましたが、なかなか意見がだしにくい点もありましたので、役場のほうで今後１０年を見据えた中でどのようにすれば維持運営でき、安心安全の水の供給を考えたうえで議論するために、役場で作成していただきましたので、その部分について説明を求めて意見をだしていただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。  以前に提示した素案を、ガイドラインにのっているひな形に移し替えたもので説明。　《ひな形に沿って説明》  経営戦略（案）の概要説明  ・今後有収水量や給水人口の減少により、水道事業会計の収入が右肩下が  りの予測がでていることや施設の老朽化が進んでいること。  ・京都府水道事業広域連携等推進協議会にて財政や技術継承についての  問題を解決していくため広域化や広域連携について検討。  ・緊急時等を想定し水道施設統合の検討。  ・今後の老朽化等を見据えたなかで、建設改良基金創設を検討。  ・料金改定の検討について、現行の水道料金ではまかなえていないのが現  　状であるので、今後近隣自治体や類似団体の料金を参考に改定を検討し  ている。  水道を今後１０年間どうやって維持していくのか、いわゆる基盤整備が整っていないなかで、かなり費用もかかるなかで、どう維持していくのかということを、現状分析してこうしていけばというのを説明いただいたかなと思うが、給水人口を増やすということは、水道の関係だけではできることではなくて、町全体でどういう方向でやっていくのかということを総合的に考えていかないと人口を増やしていくことは容易ではないと思う。  福祉計画等において高齢者がどうなっていくのかや、人口ビジョンがどう推移していくのかをみて、これ以上人口が減らないように、できれば増えるような計画を考えられてると思うので、それを把握していないといけない。  おいしいお水を供給したら人口が増えるというのではなく、空き家対策やその他色々な対策が機能しているのかということもある。  もう一つは、水道としては今の施設をどう維持整備していくのかというのを考えた中で、例えば施設の統合する方向でもっていくことも検討し、支出を抑えていくことも一つであると思う。そういった努力を重ねたうえで、料金改定に繋げていかないと、今後もっと大変になっていくということが、この案だと思います。  この計画については、あくまで１０年間の計画ですので、この計画に基づいて年度の予算執行をしていただければ、ある程度現状維持できるのではないかと思います。  お示しいただいた内容については、行政側が発信するものとして表現を再考されたい文章表現もあるように思われる。  町のビジョンと水道のビジョンの整合性をしっかりととる必要がある。  文章の表現については、計画のなかでやりきるという強い意思表現の現れだと思われるが予算が伴うことがあるので気をつける部分もある。  もう一度資料等を見直していただき、次回もう一度開催させていただき、意見をだしていただいたうえで、最後の検討委員会とさせていただきたいと思います。  以　上 |